

美術

教科の目標	<p>(1) 造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるよう表現の基礎となる力をつける。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさなどについて考え、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めていく。</p> <p>(3) 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情を育み、美に対する感性を養い、主体的に表現することの楽しさ、喜びを味わう。</p>
-------	---

評価規準

評価の観点	評価基準	評価方法
知識・技能	<p>○表現における基礎的な技能を身に付け、それを生かして意図に応じて見通しをもった創造的な作品制作をしている。</p> <p>○作品制作において、発想から完成までよりよい表現のための工夫がなされている。</p>	<p>・作品制作途中の技能</p> <p>・完成作品</p> <p style="text-align: right;">等</p>
思考力・判断力・表現力	<p>○感じ取る感性、発想力、イメージを浮かべる能力等をもとに、創造的な攻勢を工夫して表現する構想を練っている。</p> <p>○色や形、材料などに注目して、造形的な美しさ、よさや個性などを感じ取り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めている。</p>	<p>・作品制作途中のアイデアスケッチ</p> <p>・鑑賞のレポート</p> <p style="text-align: right;">等</p>
主体的に学習に取り組む態度	<p>○自ら積極的に取り組む意欲を持ち、創造活動の喜びを味わい、主体的に表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>	<p>・振り返りカード</p> <p>・提出物の提出状況</p> <p>・授業の取り組み状況</p> <p style="text-align: right;">等</p>

使用教科書・教材

美術2・3上 美術2・3下 (日本文教出版)	○美術資料(秀学社)	○各種材料
------------------------	------------	-------

美術科学習へのアドバイス

<p>・美術は「色」と「形」があるものすべてに関わります。そういった意味では身の回りには、美術があふれています。美しいもの、面白いものなど、身の回りのものに好奇心を持って、みて感じていきましょう。それが自分の感性を磨くことにつながり、表現活動につながっていくと思います。</p>

【第2学年】 標準授業時数35時間

月	題材	ねらい	主な指導内容
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ・私の世界（アートグラス） 〔絵画〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・心の中を身近なものに託したり、空想したものから、効果的な画面構成を工夫させる。 ・アートグラスの特長を表現に生かせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージの生かし方 ・主役、脇役の画面配置 ・アートグラスの表現方法 ・鑑賞の仕方
	<ul style="list-style-type: none"> ・夢のような、幻のような（シュールレアリズム） 〔鑑賞〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・20世紀の近代絵画の様々な表現について関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・シュールレアリズムについて
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ・作品を引き立てる（額縁をつくろう） 〔彫刻・工芸〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・額縁という条件を考えに入れた個性的なデザインを工夫する。 ・彫刻刀を使い分けて、効果的な使い方を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・額縁のデザインについて ・材料用具の効果的な生かし方 ・浮き彫りの方法 ・仕上げについて
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ・西洋を魅了した日本（ジャポニズム）〔鑑賞〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の美術工芸が19世紀の後半に西洋の美術界に与えた影響について知り、東西の文化交流の意義やその成果についての関心を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・浮世絵について ・ジャポニズムについて
	<ul style="list-style-type: none"> ・文字のデザイン（レタリング）〔デザイン〕 ・文字を楽しく（絵文字をつくろう） 〔デザイン〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・レタリングとは何かを理解させ、基本の書体をかけるようにする。 ・文字の意味と形を生かした効果的な構成を工夫する。 ・計画的に制作に取り組む。 ・色についての知識を活用し、効果的な配色を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・明朝体、ゴシック体の特徴と書き方 ・レタリングを基にしたデザイン ・単純化、再構成などの方法 ・配色の工夫